

信濃町立信濃小中学校 学校評価シート

〔凡例〕 ◎十分達成 ○概ね達成 △不十分

1 教育課程・学習指導

① 各教科等の授業の状況

・説明、板書、発問など、各教員の授業の実施方法は工夫されているか。	○
・視聴覚教材や教育機器などの教材・教具は活用されているか。	◎
・体験的な学習、問題解決的な学習、児童生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習がされているか。	○
・個別指導やグループ別学習、習熟度に応じた指導、興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習がされているか。	○
・チームティーチング指導などにおける教員間の協力的な指導がされているか。	○
・学習指導要領にのっとり、児童生徒の発達段階に即した指導がされているか。	◎
・授業や教材の開発に地域の人材など外部人材を活用し、より良いものとする工夫がされているか。	◎

② 教育課程等の状況

・教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間での共通理解がされているか。	○
・児童生徒の学力・体力の状況を把握し、それを踏まえた取組がされているか。	◎
・児童生徒の学習について、観点別学習状況の評価がされているか。	◎
・ラーニングセンターの計画的利用や、読書活動の推進の取組がされているか。	◎
・体験活動、学校行事などの管理・実施体制は適切か。	◎
・部活動など教育課程外の活動の管理・実施体制は適切か。	◎
・必要な教科等の指導体制の整備、授業時数の配当は適切か。	◎
・学習指導要領にのっとり、児童生徒の発達段階に即した指導がされているか。	◎
・教育課程の実施に必要な、各教科ごと等の年間指導計画や週案などが適切に作成されているか。	◎

2 キャリア教育(進路指導)

・学校の教職員全体として組織的にキャリア教育(進路指導)に取り組む体制が整備されているか。	○
・進路情報について収集し、活用されているか。	◎
・進路相談は実施されているか。	◎
・児童生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度の育成のため、体系的・系統的な指導がされているか。	○
・保護者や地域、企業等との連携協力はされているか。	○
・職場体験活動や就業体験活動は実施されているか。	◎

3 生徒指導

① 生徒指導の状況

・学校の教職員全体として生徒指導に取り組む体制が整備されているか。	◎
・問題行動への対処が適切にされているか。	◎
・非行防止対策が実施されているか。	◎
・保護者や地域、関係機関等との連携協力はされているか。	◎
・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携協力による教育相談等が行われているか。	◎

② 児童生徒の人格的発達のための指導状況

・自ら考え、自主的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるような指導がされているか。	○
・保護者とも連携協力し、基本的な生活習慣を身につけさせるための工夫がされているか。	◎
・児童生徒の適正を発見し、その能力を引き出し、それを発揮できるようにするための工夫がされているか。	○
・豊かな人間関係づくりに向けた指導はされているか。	○
・命の大切さや環境の保全などについて指導されているか。	◎
・社会の一員としての意識(公平・公正・勤労・奉仕・公共心・公德心・情報モラル)について指導されているか。	◎

4 保健管理

・児童生徒を対象とする保健(心のケア等を含む)に関する体制整備や指導・相談が実施されているか。	◎
・家庭や地域の保健・医療機関等との連携はされているか。	◎
・法定の学校保健計画の作成・実施はされているか。	◎
・学校環境衛生の管理は適切にされているか。	◎
・日常の健康観察や疾病予防、児童生徒の自己健康管理能力向上のための取組や健康診断が実施されているか。	◎

5 安全管理

・法定の学校安全計画や学校防災計画等の作成・実施、体制が整備されているか。	◎
・危機管理マニュアル等の作成や活用がされているか。	◎
・安全点検(通学路の安全点検を含む)や教職員・児童生徒の安全対応能力の向上を図る取組がされているか。	◎

6 特別支援教育

・特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流、共同学習は実施されているか。	◎
・医療、福祉等との関係機関との連携はされているか。	◎
・校内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの指名、校内研修は実施されているか。	◎
・特別支援教育のための校内支援体制の整備がされているか。	◎
・個別の指導計画や教育支援計画が作成されているか。	◎

7 組織運営

・校長など管理職の教育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、他の教職員からの信頼の状況はどうか。	○
・校務分掌や主任制が適切に機能しているか。また、明確な運営・責任体制が整備されているか。	◎
・職員会議は適切に運営されているか。	◎
・勤務時間管理や職免研修の承認状況等、服務管理は適切か。	◎
・各種文書や個人情報等の学校が保有する情報の管理は適切か。また、教職員へ情報の取扱方針は示されているか。	◎

8 研修(資質向上の取組)

・授業研究の継続的な実施など、授業改善に取り組んでいるか。	◎
・校内における研修の実施体制は整備されているか。	◎
・校内研修、校外研修実施状況、参加状況はどうか。	◎
・町費講師、非常勤講師、支援員等の資質の確保・向上に向けた取組はされているか。	◎
・指導が不適切な教員の状況を把握し、その対応はされているか。	◎

9 教育目標・学校評価

① 教育目標の設定と自己評価の実施状況

・ 児童生徒や学校の実態、保護者や地域の意見・要望を踏まえた学校としての目標を設定しているか。	◎
・ 学校の状況を踏まえ重点化された目標を設定しているか。また、その目標は適切か。	◎
・ 自己評価が年1回以上、定期的に行われているか。	◎
・ 自己評価の結果が、翌年度の目標等の改善へ活かされているか。	○
・ 全教職員が自己評価に関与しているか。	◎
・ 児童生徒・保護者アンケート等を実施し、自己評価へ活用されているか。	◎
・ 授業評価が実施されているか。	◎
・ 自己評価の結果が設置者に報告されているか。	◎

② 学校関係者評価の実施状況

・ 保護者その他の学校関係者による主体的・能動的な評価が年1回以上実施されているか。	◎
・ 学校関係者評価の評価者に保護者が含まれているか。	◎
・ 学校関係者評価の結果が翌年度の目標等の改善に活かされているか。	○
・ 学校関係者評価の結果が設置者に報告されているか。	◎

③ 学校に対する児童生徒・保護者の意見・要望等の状況

・ 児童生徒・保護者の満足度を把握しているか。	◎
・ 教育相談等の体制、意見・要望を把握する取組がされているか。	◎
・ 授業評価が実施されているか。	◎

10 情報提供

・ 学校公開は実施されているか。	◎
・ 児童生徒の個人情報は適切に保護されているか。	◎
・ 学校評価(自己評価・学校関係者評価)の結果は公表されているか。	◎
・ 学校便りや学年・学級便りの発行など、主に保護者を対象とした情報提供はされているか。	◎
・ 広報誌、ホームページを活用し、広く周知するための工夫がされているか。	◎

11 保護者、地域住民等との連携

・ 学校運営へ保護者、地域住民等の参画・協力が得られているか。	◎
・ 地域住民から寄せられる具体的な意見・要望を把握し、対応しているか。	◎
・ PTAとの懇談は行われているか。	◎
・ 地域住民等と連携し、地域の自然や文化、伝統行事などの教育資源を活かした取組がされているか。	◎
・ 授業や活動に、地域の人材など外部人材を活用しているか。	◎

12 教育環境整備

・ 施設・設備の安全・維持管理のため、点検・整備の取組が行われているか。	◎
・ 教材・教具・図書の整備はされているか。	◎
・ 教育環境の整備は、設置者と連携し実施しているか。	◎

13 義務教育学校(信濃小中学校)の特性による評価

<ul style="list-style-type: none"> ・ 9年間の系統性・連続性を強化した教育課程・指導が実施されているか。 * 9年間の年間指導計画により指導を実施。育成すべき資質・能力を明確にした9年間のカリキュラムづくりを今後推進していく予定。 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校独自の教科や領域の指導が実施されているか。 * 教科等を横断的につなげたふると学習 * 1年生からの英語に親しむ学習 	◎
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な異学年交流、リーダー体験が実施されているか。 * なかよし元気っ子(遊びでの交流・ボランティア活動) * 1年生を迎える会、9年生ありがとうの会 * 秋桜祭元気っ子発表会 * なかよし集会 * あいさつ運動 	◎
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4・5制による教育効果を把握しているか。 * 初等部(1～4年)の活動による自主的・能動的な児童の育成 * 高等部(5～9年)の教科担任制により、知的好奇心を高め、より専門的な学びの実現 	◎
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒のコミュニケーション能力、自己肯定感の状況はどうか。 * 人間関係づくりにおいて、困難を感じる児童生徒へリソースルーム等に対応。しかし、更なる支援が必要。 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一貫教育の円滑な実施に必要な組織運営体制となっているか。また、校務の効率化が図られているか。 * 校務分担、教科会の運営等、全てにおいて前期課程と後期課程の職員が共に入って活動している。 * 時間外勤務時間について減少傾向ではあるが、役割分担を明確にして校務効率化への改善を推進。 	○

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の負担感、多忙感は緩和されているか。また、緩和させる取組がされているか。 * 各種行事の厳選(児童生徒にどんな力をつけるかで判断) * 校務の効率的な取組(役割分担、校務支援システムの有効活用、情報機器の使用) 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習上の悩みを抱える児童生徒、不登校・いじめ・暴力行為へ対応する取組がされているか。 * 特別支援教育係、生徒指導係が主体的に職員会等で情報交換を実施し、素早く対応。 	◎
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校・中学校の授業観・評価観が共有されているか。また、指導内容の系統性に関する教職員の共通理解がされているか。 * 授業研究を各教科各課程のメンバーが混在する全校研究体制に変え、全職員で授業観・評価観が共有できるようにした。(東京大学大学院藤江康彦先生を招いて授業研究等のご指導もあり。) 	◎